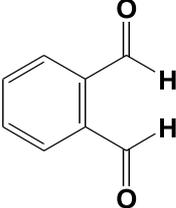


## 製品安全データシート

作成日 2001年10月24日  
改訂日 2021年8月11日

1. 製品及び会社情報	
製品名	ディスオーバ®消毒液 0.55%
会社名	ASP Japan 合同会社
住所	東京都港区港南2丁目15番2号 品川インターシティB棟6階
担当部門	マーケティング部
電話番号	03-6712-1011
FAX 番号	03-6433-3451
緊急連絡先	03-6712-1011
整理番号	MSDS-OP-2

2. 組成、成分情報	
単一製品・混合物の区別	混合物
化学名	Benzene-1, 2-dicarbaldehyde
一般名	フタラール
別名	Ortho-phthalaldehyde
成分及び含有量	フタラール 0.55%
化学特性	
分子式	C <sub>8</sub> H <sub>6</sub> O <sub>2</sub>
分子量	134.13
構造式	
CAS No.	643-79-8
危険有害成分	フタラール。劇薬(薬事法施行規則別表第3 劇薬の部有機薬品及びその製剤第111の4)

3. 危険有害性の要約	
最重要危険有害性	本製品は大部分が水であるため危険性は極めて低い。本製品との接触により、眼、皮膚、呼吸器官の刺激を引き起こすことがある。本製品を取り扱う場合、コンタクトレンズの着用は避ける。
吸入した場合	本製品の有効成分フタラールは固体で気化することはないが、本製品の蒸気を吸い込むと、鼻や喉、呼吸器系に炎症を引き起こすことがある。また、咳、胸部の不快感や圧迫感、呼吸困難や頭痛を引き起こすことがある。こうした症状は暴露がなくなれば軽減する。気管支炎や喘息の既往がある場合、本製品を吸入すると症状が悪化することがある。本製品を加熱すると炎症を起こす可能性が増す。
皮膚に接触した場合	とくに長時間にわたって皮膚に触れると、接触した部分がしみになることがある。繰り返し皮膚に接触すると、皮膚乾燥、ひび割れ、皮膚炎等を引き起こすことがある。皮膚炎などの皮膚疾患がある場合、本製品への暴露によって症状が悪化する可能性がある。症状は一過性のこともあり反復性であることもある。
目に入った場合	本製品が眼に直接触れると、眼がひりひり痛んだり、涙が過剰に出たり、赤くなることもある。
飲み込んだ場合	本製品を飲み込んだ場合、胃腸を刺激し、口や喉、食道、胃に炎症や化学熱傷を引き起こすことがある。嘔気、嘔吐、下痢、悪心などを伴う。

4. 応急措置	
吸入した場合	新鮮な空気の場所に移動させ安静にし、直ちに医師の処置を受けること。
皮膚に付着した場合	直ちに水で洗い流すこと。万一皮膚に何らかの反応が起こった場合は、医師の診断を受けること。
目に入った場合	直ちに流水で 15 分以上洗った後、専門医の処置を受けること。コンタクトレンズ装用の場合はコンタクトレンズをはずし、十分な洗眼を行い、専門医の処置を受けること。取り外したレンズは再使用しないこと。
飲みこんだ場合	無理に吐かず、口の中をすすぎ、多量の水や牛乳を飲んだ後、医師の処置を受けること。
医師に対する特別注意事項	経口暴露により粘膜が損傷した場合、胃洗浄を行ってはならない。

5. 火災時の措置	
消火剤	周囲環境に適した消火剤を選択すること。
消火を行う者の保護	自給式呼吸器、保護眼鏡、保護服を着用し、皮膚や眼との接触を避けること。

6. 漏出時の措置	
人体に関する注意事項	適切な保護具(耐薬品性のゴーグル、手袋、エプロン、実験用コートなど)を着用すること。
環境に対する注意事項	雨水管渠を閉めるなど、必要に応じて環境を保護する対策を講じること。
除去方法	漏洩物を中和するには、こぼれた本製品 1 ガロン(3.8L)に対し、約 25g のグリシン(遊離塩基)粉末を撒く。モップなどの道具を使って、グリシンを漏洩物と完全に混ぜる。フタラールが不活化されるまで、5 分間はみておくこと。雨水管渠を閉めるなど、必要に応じて人や環境を保護する対策を講じる。中和された残留物および廃棄可能な清掃用具はすべて、適切な容器に入れて密閉する。漏洩した場所と使用した道具は石鹼水で洗い、水ですすぐこと。

7. 取扱い及び保管上の注意	
<p>使用上の注意</p> <p>重要な基本的注意</p>	<p>本製品を取り扱う者は、適切な訓練を受けなければならない。</p> <p>人体には使用しないこと。</p> <p>本製品にて消毒を行った軟性膀胱鏡、経食道心エコー(TEE)プローブ等の医療器具を使用した患者に、アナフィラキシーショック、食道・胃の粘膜損傷、化学熱傷、口腔内の着色等の症状があらわれたとの報告があるので、下記の点に注意すること。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 消毒終了後は多量の水で本製品を十分洗い流すこと。</li> <li>2) 細孔を有する等構造の複雑な器具類では、十分に洗浄されないおそれがあるので、特に注意すること。</li> <li>3) 本製品又はフタラールに対し過敏症の既往歴のある者には、本製品にて消毒を行った医療器具等を使用しないこと。</li> </ol> <p>本製品を取り扱う際には、下記の点を注意すること。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 本製品又はフタラールに対し過敏症の既往歴のある者は、本製品を取り扱わないこと。</li> <li>2) 蛋白結合性があるので、本製品を素手で取り扱わないこと。また、人体に直接接触しないように注意すること。本製品を取り扱う場合には、ゴム手袋、ゴーグル、ガウン等の保護具を装着すること。</li> <li>3) 皮膚に付着したときは直ちに水で洗い流すこと。また、眼に入った場合には、直ちに流水で 15 分以上洗った後、専門医の処置を受けること。コンタクトレンズ装用の場合はコンタクトレンズをはずした後、十分な洗眼を行い、専門医の処置を受けること。また、取り外したレンズは再使用しないこと。</li> </ol>
<p>効能・効果に関連する使用上の注意</p>	<p>超音波白内障手術器具類には本製品を使用しないこと。</p> <p>人工透析用ダイアライザー等、再使用が推奨されていない医療器具には使用しないこと。</p> <p>経尿道的検査又は処置のために使用する医療器具類には本剤を使用しないこと。</p>
<p>用法・用量に関連する使用上の注意</p>	<p>医療器具等は使用後、速やかに十分洗浄し水切りをしたのち、本製品で消毒すること(洗浄せずに直接本製品に医療器具等を浸漬すると、生体組織や分泌物の付着が取れにくくなることがある。)</p> <p>器具等の洗浄方法については、メーカーの推奨する方法や学会等のガイドライン等を参照すること。</p> <p>ディスオーパ®テストストリップ等によりフタラール濃度が0.3%以上であることを確認し、使用すること。また、14 日間を超えて使用しないこと。</p>
<p>その他の注意</p>	<p>異物の混入を避けるため浸漬にはふた付き容器を用い、使用中はふたをすること。</p>
<p>取扱い</p>	<p>換気の良い場所で取り扱うこと。換気についてはセクション 8 参照。</p> <p>本製品を医療用器具・機器、装置の化学的殺菌・消毒以外の目的に使用しないこと。</p> <p>衣服に付着したときには直ちに汚染した衣服を脱ぐこと。皮膚に付着したときには大量の水で洗い流すこと。</p> <p>誤って飲み込んだ場合には、無理に吐かず、多量の水や牛乳を飲んだ後、専門医の処置を受けること。</p> <p>氷結した場合には、常温で放置して自然に溶かし、異常のないことを確かめたのち、使用すること。</p>
<p>保管</p>	<p>遮光性ポリエチレン容器に入れ、直射日光や熱源から避け、涼しく乾燥した場所(15~30℃)に保管すること。混合危険性のある物質から離して保管すること(セクション 10 参照)。使用しないときは、容器のふたをしっかりと閉めること。</p>

8. 暴露防止及び保護措置	
設備対策	1 時間に最低 10 回程度の換気を行うなど十分換気を行うこと。換気が十分でない場合は、局所排気フード、またはダクトのないフュームフードあるいは持ち運びできる換気システムの下で使用する。
許容濃度 (メーカー推奨値)	<p>グルタラルについて蒸気規制値(瞬間的にも超えてはならない濃度)として 0.05ppm が設定されているが、フタラルについては公的機関による規制値は設定されていない。</p> <p>&lt;メーカー推奨値&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・最長 15 分間における曝露許容濃度 <math>148 \mu\text{g}/\text{m}^3</math>(0.027ppm) (一日 4 回以内、又それぞれの間に 60 分以上の間隔が必要)</li> <li>・1 日 8 時間/週 40 時間労働して毎日繰り返し曝露しても悪影響を受けることがない時間荷重平均濃度 <math>19 \mu\text{g}/\text{m}^3</math>(0.0035ppm)</li> </ul> <p>※本推奨値は安全使用上の目安であり、必ずしも安全性を保証するものではない。</p>
保護具	
呼吸器用の保護具	本製品の有効成分であるフタラルは固体で、揮発することはないので通常の手扱いは必要ないと思われるが、本製品のミストが発生した場合にはそれを吸い込まないように注意すること。
手の保護具	通常の手扱いは、ラテックス製、PVC 製、またはニトリルゴム製の手袋を着用すること。ラテックス製手袋は頻繁に(10~15 分おきに)交換すること。漏洩物の処理にあたる際は、手袋を 2 重で使用し(ラテックス製の手袋とニトリルゴム製の手袋)、セクション 6 に規定する漏出時の措置に従うこと。
目の保護具	保護眼鏡/耐薬品性ゴーグル
皮膚及び身体の保護具	保護眼鏡、手袋、エプロン、実験用コートなど

9. 物理的及び化学的性質	
物理的状態	澄明な液体
形状	液体
色	淡青色
臭い	ないか又はわずかにアルデヒド臭
pH	7.2 - 7.6
物理的状態が変化する 特定の温度/温度範囲	凝固点: 0°C 沸点: 100°C
引火点	引火性なし
密度	1.0003
溶解性	水に溶解する

10. 安定性及び反応性	
安定性	推奨される保管条件で安定
反応性	規制されない
避けるべき条件	直射日光や熱源
避けるべき材料	強酸物質、強塩基物質、強酸化剤
危険有害な分解生成物	知られていない

11. 有害性情報	
急性毒性	経口 ラット LD <sub>50</sub> >5,000 mg/kg 経皮 ウサギ LD <sub>50</sub> >2,000 mg/kg
局所効果	眼に入った場合(ウサギ)、わずかな炎症をもたらすが、7日以内に回復する。
感作性	本製品に対し過敏症の既往歴のある者は本製品を取り扱わないこと。
発がん性	本製品の成分は、米国連邦の労働安全衛生局(OSHA)のZリスト、国家毒性プログラム(NTP)、国際がん研究機関(IARC)、CAL/OSHAに記載していない。
遺伝毒性	本製品の成分には遺伝毒性誘発作用はない。

12. 環境影響情報	
分解性	本製品の成分はゆっくり分解して無機化合物と有機化合物になる。

13. 廃棄上の注意	
残余廃棄物	本製品を廃棄する場合は、水で十分に希釈するか、グリシンで不活化したのち、排水規制に従って廃棄すること(セクション 6 参照)。
汚染容器・包装	使用済みの容器は水ですすぎ、キャップをして廃棄すること。再使用はしないこと。

14. 輸送上の注意	
国際規制	
DOT	該当しない
IMO/IMDG	該当しない
ADR/RID	該当しない
IATA/ICAO	該当しない
TDA	該当しない

15. 適用法令	
国際関連法規	
SARA	該当しない (Superfund amendments and the reauthorization act.)
WHMIS	該当しない (Canadian workplace hazardous materials information system)
国内関連法規	
安衛法分類	該当しない
有機法分類	該当しない
PRTR法分類	該当しない

16. その他の情報	
引用文献	1) ディスオーバ®消毒液 0.55%の添付文書 2) Material safety data sheet Cidex OPA solution. Advanced Sterilization Products.
ご注意	記載内容は、正確を期していますが、その正確性および本製品の使用に伴う結果に対し、いかなる保証をなすものではありません。弊社は、本データシートの規定に準じた安全な取扱いを怠った場合に生じる損害に対しては責任を負いかねますのでご了承ください。安全な取扱いを行った場合でも、特殊な取扱いによって生じる損害に対しては責任を負いかねますのでご了承ください。本製品の使用に伴う危険はお客様負担となります。